

## 平成25年度第1回一次電池部会を開催

平成25年6月12日、坂口部会長（東芝ホームアプライアンス（株））を議長に、平成25年度第1回一次電池部会を開催した。冒頭に坂口部会長および淡路谷専務理事より挨拶があり、引き続き各委員会より活動報告が行われた。



### 1.坂口部会長挨拶

本年度と来年度の2年間、部会長を務めることになりました。電池業界での経験は30年以上になります。30年前は、一次電池分野では、マンガン乾電池が全体の5～6割を占めている状態だったが、今ではアルカリ乾電池が8～9割を占めるまでになった。その一方で、二次電池が急速に伸びてきた。ニカド電池、ニッケル水素電池、そしてリチウムイオン電池と大きな技術革新がなされてきた。このような業界に永年携われてきたことは、大変嬉しい限りです。2年間よろしくお願いします。

### 2.淡路谷専務理事挨拶

6月から専務理事を務めることになりました。4月末に三洋電機を定年退職し、電池工業会にまいりました。20数年ニカド電池の開発に携わり、その後海外会社の経営にも携わりました。一次電池に関する知識・経験は持ち合わせておらず、皆様のご協力をお願いしたい。統計を見ると一次電池業界は厳しい状況ですが、経済状況が好転しつつある中で、電池工業会として攻勢をかけられないかという点を含め皆様と一緒に取り組んでいく所存です。よろしくお願いします。

### 3.委員会報告

各委員会の代表者より平成24年度の活動報告を基に以下の報告があり、承認されました。

#### (1) ボタン電池回収推進委員会 (楯本委員長)

- ・UNEP水銀条約の交渉結果と今後の動きについての報告があった。
- ・ボタン電池回収の協力店数は順調に増加。
- ・回収量は旧スキームからの倍増を達成。
- ・回収量増加の要因を分析するため、稼働率と回収頻度を切り口に分析を行なったところ、稼働率アップが回収量増加に寄与していることが分かった。

#### (2) 器具委員会 (蜂谷委員長)

- ・携帯電灯SBA規格 (SBA S 1601) の英訳版の作成。
- ・BAJ ホームページの内容を充実 (携帯電灯関連)。
- ・防犯ブザーの規格改定検討 (防滴性の追加検討等)。
- ・「電池器具安全確保のための表示に関するガイドライン」改定検討。

#### (3) 資材委員会 (橋本委員長)

- ・「電池主要材料調達に関する国際比較」「下請法コンプライアンス遵守の取組み」「電池主要材料5アイテムの市況調査」の3つのテーマに取り組む。
- ・電池主要材料5アイテム (亜鉛・リチウム・マンガン・ニッケル・コバルト) の市況動向については、全アイテムとも需給にタイト感はなく市況価格は安定推移。

#### (4) 業務委員会 (佐藤委員長)

- ・平成25年度活動計画
- ・一次電池国内需要予測の取組み。
- ・統計合同委員会の新設。BAJ理事会直轄の委員会として、一元化された規程類などの制定を目的に活動を展開開始。
- ・電池適正表示に関し、ニッケル水素WGにて具体的な検討を推進。技術的要素については、二次電池第2部会ニカド・ニッケル水素分科会へ検討の要請を予定。

#### (5) PL委員会 (井上委員長)

- ・平成25年度年間活動計画

- ・平成24年のPL委員会7社のクレーム情報を集約、分析。拡大被害のあった重要クレームは、前年度より大幅に減少。漏液による機器損傷事故が多く、特にリモコン機器の損傷が全体の4割を占める。「リモコン機器に入れっぱなし」による過放電漏液を根絶するための消費者啓発と共に製造品質の安定化が不可欠と認識。

#### (6) 技術委員会 (仁司委員長)

- ・規格小委員会活動 (IEC関連) : IEC TC35蘇州会議 (6/3~6/5) におけるIEC60086シリーズの改正審議のため、日本提案を審議した。
- ・規格小委員会活動 (JIS関連) : JIS C 8514 (水溶液系一次電池の安全性) 改正審議。JIS C 8513 (リチウム一次電池の安全性) 改正審議 : 8月より審議開始予定。
- ・リチウム小委員会活動 : IEC60086-2 (一次電池個別製品仕様) のメンテナンス作業。IEC60086-4 (リチウム一次電池の安全性) のメンテナンス作業。
- ・リチウムコイン二次電池 国際規格ワーキンググループ : リチウムイオン電池等に関する性能規格 (IEC61960)、安全性規格 (IEC62133) の改訂審議。

#### (7) 国際環境規制総合委員会 (醍醐副委員長)

- ・地域別 (欧州/北米/アジア/中南米) の環境規制状況のアップデート。
- ・WRBRFおよびTWG会議の報告。5/21~23にかけて京都で開催。WRBRFは世界の二次電池関連団体、TWGは世界の一次電池の関連団体が集まり情報交換。

#### (8) 広報総合委員会 (山本委員長)

- ・展示会・イベント関係 : 今年度は、でんちフェスタを従来開催の関東・関西に加え九州 (福岡) で初めて開催予定。
- ・キャンペーン・PR関係 : 好評の手作り乾電池教室を全国で開催予定。既に全国23カ所の応募有。
- ・情報発信関係 : 小冊子「WE LOVE DENCHI」は2013年度版を作成済み。各イベントで活用予定。

以上

# パナソニック(株)オートモーティブ& インダストリアルシステムズ社の古川 明男様が 『平成25年度 IEC活動推進会議議長賞』を受賞

平成25年5月24日に、パナソニック(株)、オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社の古川 明男様が、二次電池（ニカド・ニッケル水素・リチウムイオン電池）の国際標準化への貢献に対し、IEC活動推進会議議長賞を受賞されました。



電池工業会の委員が受賞したIEC活動関連の表彰では（感謝状も含めると）古見様、山下様、椿様、千葉様、高橋様に続いて6人目の受賞となります。

古川様は、1998年から2013年の間、三洋電機(株)所属（その後パナソニック(株) エナジー部門）する傍らIEC SC21Aのエキスパートとして多くの国際会議に参加するとともに、一般社団法人電池工業会の二次電池第2部会の国際電池規格委員会委員長、ニカド電池分科会・ニッケル水素電池分科会・技術委員会等に参加し、国内企業の意見を国際的な場で発

言・交渉してこられ、IECだけでなくJISの原案作成や改定案作成にも貢献されてこられました。

この間 日本の電池メーカーが最先端技術と主要生産国となっている二次電池の国際規格であるIEC/SC21AではWG2、WG3、WG4、WG5のエキスパートを務め、特にWG3ではコンベナーとしてWGをまとめる要職を受け持ち、日本の電池メーカーの意向を国際標準に反映するなど、国内・国際両方の工業規格標準化に多大なる貢献をされました。なお、古川様は現在も上記の要職を継続されています。

# 平成25年 6月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	3日(月)	広報でんちフェスタ・ワーキンググループ	でんちフェスタの実施内容検討、他。
	3日(月)	広報関西でんちフェスタ・ワーキンググループ	関西でんちフェスタの実施内容検討、他。
	3日(月)	統計合同委員会	統計に関する規約・規程類の検討、他。
	17日(月)	広報総合委員会	各でんちフェスタの進捗報告、展示パネル・ポスターの更新、他。
	17日(月)	広報九州でんちフェスタ・ワーキンググループ	九州でんちフェスタの実施内容検討、他。
	28日(金)	広報関西でんちフェスタ・ワーキンググループ	関西でんちフェスタの実施内容検討、他。
二次電池部会	3日(月)	自動車鉛分科会	EN規格審議、他。
	3日(月)	S0101ワーキンググループ	SBA S0101改正協議。
	7日(金)	資材委員会	使用済みバッテリー流出調査の評価まとめ、他。
	13日(木)	産業用電池技術サービス分科会	SBA G 0606改正審議、他。
	14日(金)	充電器分科会	SBA G 0901、SBA G 0902改正審議、他。
	17日(月)	EV鉛分科会	SBA改正審議、他。
	19日(水)	環境委員会	環境情報の共有、他。
	26日(水)	自動車用電池委員会	SBRA新システム運用状況報告、ユーザーアンケート中間まとめ、他。
二次電池第2部会	5日(水)	LIB蓄電システムワーキンググループ	蓄電池設備に関する認定の手引きの改訂検討、他。
	6日(木)	国際電池輸送委員会	ICAO WG/13への対応、他。
	7日(金)	PL委員会	リスク評価のガイドラインの策定検討、他。
	11日(火)	リチウム二次分科会	JIS C8712改訂審議、他。
	13日(木)	二次電池第2部会	各専門委員会の活動報告、他。
	18日(火)	ニカド・ニッケル水素分科会	IEC/JIS改訂対応審議。
一次電池部会	7日(金)	業務委員会 ニッケル水素ワーキンググループ	市販用ニッケル水素電池の表示ルール検討、他。
	7日(金)	業務委員会	国内需要予測・統計ルールの検討、他。
	10日(月)	リチウムコイン二次電池 国際規格ワーキンググループ	IEC61960/IEC62133の改訂のための検討。
	10日(月)	リチウム小委員会	IEC60086-4 CDV draft審議、IEC TC35 蘇州会議報告、他。
	11日(火)	リチウムコイン二次電池 国際規格ワーキンググループ	IEC61960/IEC62133の改訂のための検討。
	11日(火)	技術委員会	各小委員会及びワーキンググループの活動報告。
	12日(水)	規格小委員会	IEC 60086シリーズの検討、JIS C 8514, 8513審議、他。
	12日(水)	一次電池部会	各専門委員会の活動報告、他。

北村源一氏は、1912年(明治45年)6月20日に、群馬県山田郡(現みどり市)で生まれました。小学校を卒業後、野球で有名な桐生中学校に入学しましたが、1年で病気のために退学しました。その後、大間々普通学校という名の農学校に通いました。この頃にラジオが登場しましたが、生家の一部分を高崎電気商会の大間々支店が借用しており、この支店が大間々地方で唯一のラジオ取扱店でした。幼い頃から好きな事には夢中になる北村氏は、ここですっかりラジオの虜になりました。そのうち毎日家でラジオを作ったり修理したりだけでは気がすまなくなり、東京で開かれたラジオの講習会にも顔を出したりしていました。折しも高崎電気商会の大間々支店閉鎖の話が出たので、直ちにその支店のあとを引き受け、北村電気商会を立ち上げました。

その後間もなく乾電池の製造に手を染めることとなりますが、それは当時のラジオが全て電池式だったことによります。群馬がマンガンの産地であり、知人のすすめで東京から経験を積んだ職工を招いて、キング乾電池製造所という小さな工場を設立しました。この時、昭和2年4月、北村氏は弱冠16歳でした。この後は、ラジオの修理・販売と乾電池の販売をやるという時代が続きました。キング乾電池は従業員が10名にも足らない状態から次第に業績を伸ばします。昭和17年に戦時中ということもあり、キングを北村電気工業所と改称しました。その後、資材不足に陥り経営が厳しくなったため、昭和18年6月から岡田乾電池の協力工場として下請を始める一方で、沖電気の板金加工等も引き受けました。しかし岡田との関係は永く続かず、10ヵ月余りで終わりました。続いて屋井乾電池との提携が成立し、屋井乾電池群馬工場の看板も掲げ、本格的な協力工場として稼働するようになりました。屋井との関係は、終戦後の昭和22年12月まで4年半の間継続しました。この間20年1月には陸軍の指令によってB-18という電池を製作することとなりましたが、間もなく終戦を迎えました。

終戦後、屋井との関係がなくなった北村電気工業所は、23、24年の業界の不況を乗り越えて25年頃から目覚ましい進出ぶりを見せ始めました。この頃、桐生工専から長嶺秋夫氏を迎えて、工場の規模には不相応な程の研究重点主義をとったのでした。市販の拡大とともに、製缶、紙器類、木箱などの自家加工も始めました。

昭和26年3月に東京出張所を開設すると、その後京都に関西出張所、小樽に北海道出張所、久留米に九州出張所を設けるなど、日本全国に販売網を拡げました。そして、27年8月北村乾電池株式会社に改組し、取締役社長に就任しました。そして28年には200名の従業員を擁する地方の有力業者となりました。

しかし勢いに乗じた会社の拡張がやがてその経営を苦しくし、29年から退潮を見せると、翌30年12月には、会社解散の悲境に陥ることとなりました。当時まだ44歳であった北村氏は、再起を期して残った工場を稼働させながら日夜再建の為にかけてまわることとなります。翌31年2月末、この地方としては季節外れの大雪となった際に、工場の雪下ろしを行っていた際に、すべり落ち、ガラス窓の天窓を突き破って落ちた際の怪我が元でなくなりました。

関係者の方によると、北村氏は好きな事には特に夢中になる性質で、その道一筋に生きる方だったようです。一番夢中になっていたことは、やはり乾電池業で一旦解散後も日夜再建計画を廻らしていたようです。内剛外柔とでもいうか、いかに仕事に熱中していても外には穏やかな平らな方で、再建の悲願を静かに語っていたそうです。氏を知る人たちは、その短い生涯を惜しむとともにその一徹さを懐かしがっていたとのことでした。



北村 源一氏

## 4月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2013年4月）

単位：数量—千個、金額—百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	342,166	56,498	92%	85%	1,298,445	233,086	89%	84%
一次電池計	216,246	7,312	93%	91%	826,106	27,074	90%	89%
酸化銀電池	69,248	1,216	98%	88%	263,646	4,560	87%	79%
アルカリ乾電池計	73,841	3,258	87%	84%	291,737	11,923	89%	86%
単 三	41,077	1,559	87%	83%	163,276	5,803	88%	86%
単 四	21,310	851	90%	86%	82,816	2,989	93%	88%
その他	11,454	848	83%	83%	45,645	3,131	86%	82%
リチウム電池	73,157	2,838	95%	101%	270,723	10,591	93%	99%
二次電池計	125,920	49,186	89%	84%	472,339	206,012	88%	83%
鉛電池計	2,274	10,676	95%	93%	10,515	53,142	95%	94%
自動車用	1,640	6,621	94%	94%	7,676	30,341	93%	92%
その他の鉛蓄電池	634	4,055	99%	90%	2,839	22,801	99%	96%
アルカリ蓄電池計	54,268	16,892	100%	93%	203,107	67,893	96%	88%
ニッケル水素	39,801	15,184	107%	94%	149,088	60,731	98%	87%
その他のアルカリ蓄電池	14,467	1,708	84%	84%	54,019	7,162	91%	97%
リチウムイオン蓄電池計	69,378	21,618	82%	76%	258,717	84,977	82%	75%
車載用	10,398	7,503	435%	67%	41,920	33,816	394%	69%
その他	58,980	14,115	72%	81%	216,797	51,161	71%	80%

## 4月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2013年4月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	172,870	34,725	89%	117%	652,240	121,253	92%	111%
一次電池計	77,188	2,013	95%	98%	306,878	7,638	101%	101%
マンガン	1	7	0%	57%	1,160	54	79%	136%
アルカリ	3,570	80	62%	79%	14,411	266	85%	91%
酸化銀	40,493	604	108%	108%	164,180	2,362	111%	108%
リチウム	32,830	1,258	89%	103%	126,393	4,605	92%	101%
空気亜鉛	110	1	34%	34%	339	4	67%	80%
その他の一次	184	63	104%	40%	395	348	129%	69%
二次電池計	95,682	32,712	85%	119%	345,363	113,615	85%	112%
鉛蓄電池	211	974	160%	134%	705	3,386	135%	108%
ニカド	11,597	970	84%	80%	42,006	3,580	94%	93%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	0	0%	19%
ニッケル水素	13,179	5,899	110%	93%	47,639	21,287	103%	118%
リチウムイオン	66,346	17,823	85%	124%	237,019	62,318	82%	101%
その他の二次	4,349	7,047	54%	144%	17,994	23,043	67%	160%
全電池合計（輸 入）	115,659	11,709	101%	155%	491,972	40,992	111%	126%
一次電池計	107,665	1,711	100%	122%	460,091	6,538	112%	134%
マンガン	11,682	118	72%	95%	51,586	517	70%	96%
アルカリ	77,747	936	102%	109%	339,589	3,652	120%	123%
酸化銀	1,135	17	195%	125%	3,315	59	186%	137%
リチウム	13,575	578	129%	168%	51,101	1,928	139%	192%
空気亜鉛	3,516	57	93%	116%	14,420	221	88%	106%
その他の一次	9	4	1%	38%	79	161	6%	126%
二次電池計	7,994	9,998	116%	162%	31,881	34,454	103%	124%
鉛蓄電池	597	2,207	101%	105%	2,661	9,862	104%	105%
ニカド	169	141	110%	91%	664	705	22%	108%
ニッケル鉄	2	10	514%	1774%	2	10	466%	1316%
ニッケル水素	1,989	536	110%	104%	7,844	1,906	125%	102%
リチウムイオン	3,605	6,108	96%	248%	15,828	18,429	101%	171%
その他の二次	1,633	997	281%	108%	4,883	3,542	139%	71%